

# 低炭素路盤材を販売

## 舗装工事のCO<sub>2</sub>削減

前田道路は、低炭素路盤材の製造・販売を始めた。低炭

素路盤材は、破碎工場で使う電力を再生可能エネルギー由来のCO<sub>2</sub>フリー電力とし、製造に関連するCO<sub>2</sub>排出量を削減した低炭素な路盤材だ。舗装工事の路盤層に使われ、1000平方メートル約

114<sup>キ</sup>のCO<sub>2</sub>を削減できる。

同社は、CO<sub>2</sub>排出削減目標を30年度に13年度比で50%削減、50年度にはカーボンニュートラルを目指している。低炭素合材とセットで製造、販売し、低炭素舗装としてCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みを一層推進する。

組

同社の破碎工場（中間処理施設）は、建設・解体現場や舗装工事から発生するコンクリートがらなどの建設廃棄物を受け入れて破碎・分級し、RC40といった再生路盤材として製品化している。2024年度からは、全ての拠点にCO<sub>2</sub>フリー電力を導入したことに伴い、再生可能エネルギー由来のCO<sub>2</sub>フリー電力で稼働している。産業廃棄物排出事業者にと

って、同社の破碎工場にコンクリートがらなどを排出すると、適切な方法で中間処理が行われているだけでなく、処理過程でCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献できるようになる。

低炭素路盤材で削減したCO<sub>2</sub>排出量は、低炭素合材と同様に、独自のCO<sub>2</sub>削減証明書であるアクションレポートを顧客に発行し、見える化する。アクションレポートの発行は、施工業者の環境行動のPRにも役立つという。

